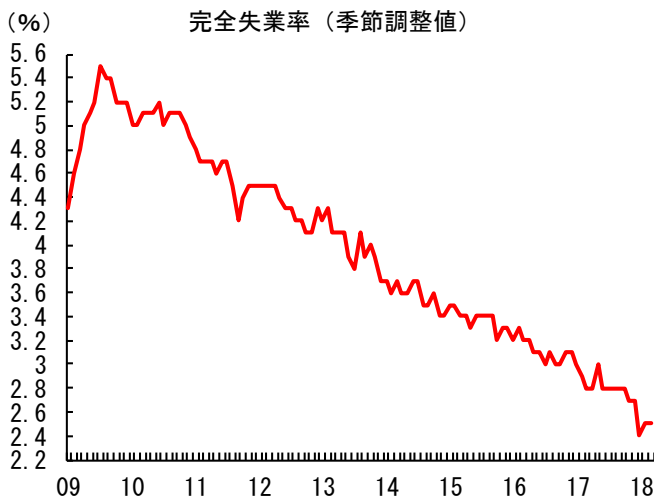
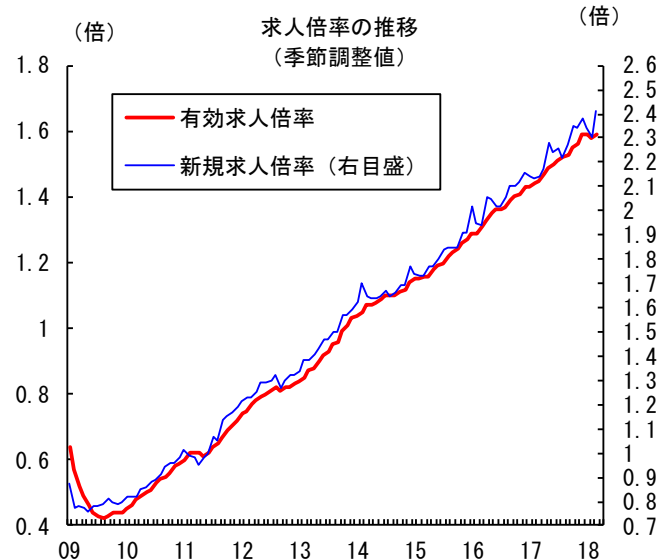


テーマ：労働力調査・一般職業紹介状況（2018年3月） 発表日：2018年4月27日（金）
 ～見た目以上に強い内容。雇用情勢は非常に良好～

第一生命経済研究所 経済調査部
 担当 主席エコノミスト 新家 義貴
 TEL：03-5221-4528



（出所）総務省統計局「労働力調査」



（出所）厚生労働省「一般職業紹介状況」

○ 就業者数と雇用者数が3ヶ月連続の急増

総務省から発表された2018年3月の完全失業率は2.5%と、前月と同水準となった（市場予想：2.5%）。極めて低い水準での推移が続いており、労働需給が非常に引き締まった状態にあることを示す結果である。ちなみに今月は、労働参加率が急上昇するなかでの失業率横ばいであり、見た目以上に内容は良好である。

実際、季節調整済みの就業者数は前月差+48万人（2月+51万人）、雇用者数は前月差+28万人（2月+28万人）とそれぞれ大幅増加となっている。就業者数、雇用者数とも3ヶ月連続の急増で、俄かには信じがたいほどの増え方だ。毎月勤労統計や後述の求人統計などではそこまでの改善は見られていないことや、ここ2ヶ月は自営業者・家族従業者の不可解な急増により押し上げられていることなどから考えて、統計の一時的な振れである可能性もあり、来月以降反動が出る可能性があることには注意が必要だろう。ただ、そうした留意点を踏まえても、足元の雇用情勢が極めて良好であることは疑いない。1-3月期については景気モメンタムの鈍化を示唆する経済指標が多かったが、こと雇用に関してはそうした気配は全く窺えない。

○ 求人倍率の上昇続く

厚生労働省から公表された18年3月の有効求人倍率は1.59倍と、前月から0.01ポイントの改善となった（市場予想：1.59倍）。また、新規求人倍率は2.41倍と、前月から0.11ポイントの大幅上昇となった。引き続きかなりの高水準にあり、労働需給が引き締まっていることが示されている。

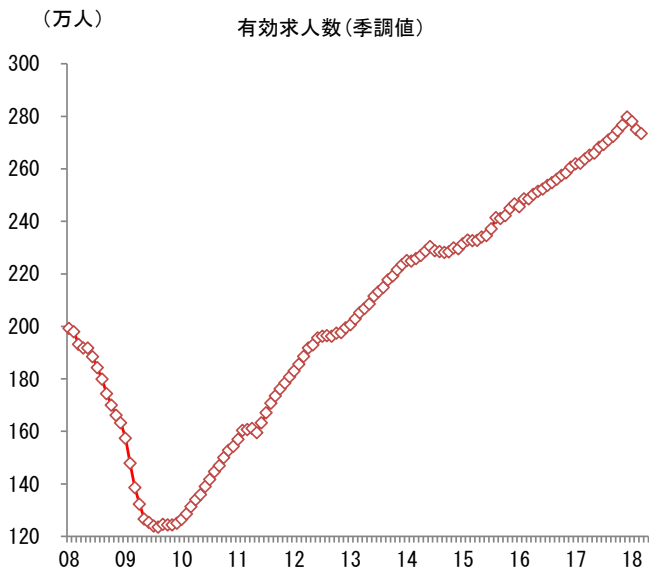
また、正社員の有効求人倍率も1.08倍と前月から0.01ポイント改善、正社員の新規求人倍率は1.60倍と前月から0.05ポイント改善した。ともに2004年11月の集計開始以来の過去最高水準を更新しており、好調さが持続している。正社員についても企業の求人意欲は旺盛であることが確認できる。



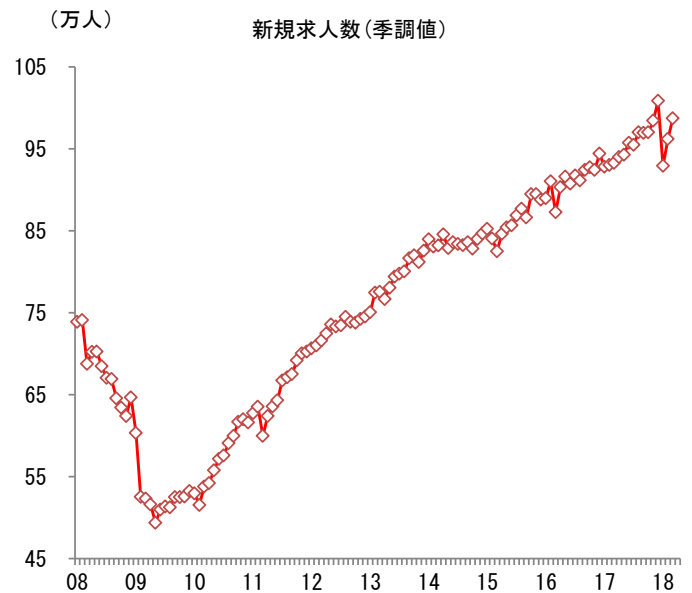
(出所) 総務省「労働力調査」



(出所) 総務省「労働力調査」



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」



(出所) 厚生労働省「一般職業紹介状況」